

# ミカサ杯争奪第44回静岡県中西部支部選抜U-10少年サッカー大会

趣 旨	中西部支部内の4種のサッカー選手が、8人制サッカー競技を通じて基礎技術を学ぶとともに、親睦と友情の輪を広げ、あわせてクリエイティブでたくましい選手の育成を目的とする。
主 催	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部
主 管	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部4種委員会
期 日	2023年 6月18日(日) 予備日 6月24日(土)、25日(日)
会 場	相良総合グラウンド(2面)
参 加 資 格	① (公財)日本サッカー協会に登録されている選手であること。 ② 4年生の選手で構成されたチームであること。 ③ スポーツ傷害保険に加入している選手であること。 ④ ベンチに入る監督、コーチは(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有しなければならず、指導者証を首から掛けることを推奨する。
参 加 チーム	中西部支部 各地区2チーム(地区トレセンで活動している選手、選抜も可)
参 加 費	10,000円/地区
チ ャーム編成	代表者1名、監督1名、コーチ3名、選手16名以上。(ただしBブロックの選手数は規定なし)
競 技 方 法	① Aブロック4チーム、Bブロック4チームの総当たりリーグ戦。 ② 8人制、3ピリオド制で行う。試合時間は、15分-3分-15分-5分-15分で行い、第3ピリオドの中間点でエンドを交代しキックオフで再開する。 ③ Aブロックは、第1ピリオドと第2ピリオドに出場する選手は、総入れ替えとする。(第1ピリオドに出場した選手は、第2ピリオドに出場できない。また、その逆も同様である。) Bブロックは、登録人数が16人に満たない場合があるため、出場制限はしない。 ④ 順位の決定は①勝点(勝3、分1、敗0)②当該チームの直接対戦成績③得失点④総得点⑤抽選の順とする。なお、抽選は代表者又は監督が行う。 ⑤ メンバー表、選手証のチェックは行わない。 ⑥ 熱中症対策として、「熱中症対策ガイドライン」に沿って試合を実施する。測定は、各試合開始前とハーフタイムにセンターサークルで1分間とし、ハーフタイムで数値が変わればその数値に従い試合の判断をする。試合途中でWBGT=31℃以上になった場合は試合を中止しその時点での点数で勝敗を決める。なお、試合進行時間の変更などの判断については、本部において協議し決定する。 WBGT=31℃以上→PK戦(3人)、28℃以上→CoolingBreak3分、25℃以上→CoolingBreak3分又は給水タイム、21℃以上→給水タイム、21℃未満→給水タイムをとることができる。
競 技 規 則	① (公財)日本サッカー協会2019年競技規則に順ずる。 ② 公認皮4号球を使用する。また、榛原地区が用意する。 ③ 指導者はエントリー選手全員出場に向けて努力すること。 ④ 選手交代は交代ゾーンを設ける。当該ピリオド出場資格のある選手であれば、交代人数・回数とも制限しない。一度退いた選手がその試合中に再び試合に出場することができる。(自由な交代を認める。) ⑤ GKがFPへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのまま、他の選手と重複しない番号あるいは番号なしのFPのユニホームを着用する。 ⑥ FPがGKへポジションを変える場合、シャツを交換するだけで良い。また、ビブスも可とする。 ⑦ 退場を命じられた者、警告累積2回の者は、次の1試合に出場できない。 ⑧ ベンチに入る交代要員は、ピッチ内選手と違う色彩の服を着用する。(ビブス可) ⑨ グリーンカード制度を導入する。 ⑩ ピッチサイズは縦60~68m×横40~50mとし、ゴールは少年用(2.15m×5.00m)を使用する。
審 判	① 試合の審判は主審1人、補助審1名とする。各地区帯同審判(ベンチ入り可)とし、3級以上とする。 ② 審判を行う者がベンチに入る場合であっても、担当する審判の試合開始20分前には打ち合わせが開始できる状態にいること。(審判着のままベンチに入ることは許されない。) ③ トレセンスタッフに限り、4級可とする。
ユニフォーム	① 参加チームは背番号と同じ番号がユニフォームの胸又はパンツの前面(前側面)に付いた完全に異色のユニフォームを2組(正・副)用意することが望ましいが、ない場合はビブスでも可とする。 ② 背番号は1~99の整数を使用し、0、00は避ける。1番からの通し番号でなくても構わない。 ③ 縦縞、横縞のユニフォームは台地を使用し背番号が明確にわかるようにする。 ④ シャツ(GK含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
表 彰	各ブロック優勝・準優勝チームに、賞状、トロフィーを授与する。
閉 会 式	大会全試合終了後行う。
そ の 他	① 試合開始時刻に間に合わないチームは失格とする。 ② 試合における怪我は、チーム又は保護者が応急処置をする。 ③ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようサポートする場となるよう心がけること。なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。 ④ 施設等の使用にあつては十分な注意を払うこと。 ⑤ ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定を順守する。 ⑥ 駐車場については、1地区25台以内とする。(指導者を含む) ⑦ 大会当日に発熱・咳・咽頭痛の症状がある場合は、大会への参加を控えること。また、大会中のマスクの着用は、選手・指導者ともに自己判断とする。